

広報 ほくりゅう

2026

11

No.735

ひまりエ OPEN! … 2P

北竜町中学生

短期語学留学助成事業参加報告 … 16～18P



今月の表紙

10月10日、旧札沼線の碧水駅舎を特別開放いたしました。駅舎内には札沼線の歴史を紹介するパネルの展示や少し早いハロウィンの装飾を行い、訪れた人達からは当時を懐かしむ声が聞かれました。

「やってみたい！」が集まる場所

ひまリエ open!



9月27日、北竜町デジタルものづくり拠点「ひまリエ」が老人福祉センター内にオープンしました！

当日は、オープニングイベントとして、東京家政大学社会デザイン学環特任教授の林園子先生（作業療法士）をお招きしての記念講演の他、3Dプリンターでの“めじるしチャーム”作成やレーザーカッターで作った組み木等の7つのブースが設けられ、町内外から約100人の方が参加して終日にぎわいました。



ひまリエってどんな場所？

こどもも、大人もテクノロジーを使って「やってみたい！」を実際にやる場です。こどもだけでなく、大人も一緒に学び、つながり、チャレンジできる、みんなの拠点です。

詳しくは、ひまリエホームページ (<https://himarie.net/>) をご覧ください。



J Aきたそらちから 新米寄贈

10月5日、JAきたそらちの岩田組合長と田丸専務、永井北竜地区代表理事が来庁され、JAきたそらちから町に北竜町産新米の「ゆめぴりか」「ななつぼし」「おぼろづき」「風の子もち米」それぞれ5kgが寄贈されました。



100歳長寿のお祝いとして 村上博さんに記念品を贈呈

和本町の村上博さんが、満100歳を迎えられました。奥田副町長からお祝いの言葉とともに、長寿記念品が手渡されました。その後、記念撮影が行われ、ご家族と100歳のご長寿をお祝いしました。



バレーボール少年団が 第24回北海道スポーツ少年団 バレーボール交流大会に出場

9月11日、沼田町のバレーボール少年団（沼田リトルポプラ）に所属する真竜小学校の児童5名が役場を訪問し、9月12日～13日に深川市で開催される標記大会を前に出場報告を行いました。

大会の結果は、本戦で惜しくも敗れてしまいましたが、2日目の交流大会では見事、優勝を果たしました。



やわら保育園で 人権教室を開催

10月5日、深川地区人権擁護委員がやわら保育園を訪れ、人形劇「くまと3匹の子ぶた」を通じた人権教室が開催されました。子ぶたたちに遊んでももらえずひとりぼっちになったくまが、子ぶたの家を壊そうとしますが「もう乱暴しない」と約束し、最後には仲直りするストーリーです。

人権擁護委員から、相手の気持ちをよく考えて思いやりを持つことが大事とのお話があり、園児たちは「はい！」と元気いっぱいに答えていました。



町民満足度調査の結果

中学生以上の町民の皆様アンケートをお願いした「町民満足度調査」の結果がまとまりました。

調査の目的は「町民の北竜町に対する満足度」を把握すると同時に、日常生活の身体的・精神的・社会的や豊かさや幸福感、あるいは課題などを多角的に明らかにしようとするものです。

今回のアンケートの回収率は46.8%（有効回答者数：644人）と、これまで町が実施した各種調査の回収率と比較して非常に高い結果となっており、改めて町民皆様の関心の高さが感じられます。

調査結果概要

全体	10～20代	子育て層
町への好意度 82.0%	町への好意度 80.0%	町への好意度 76.9%
住み続けたい 計 83.2%	住み続けたい 計 50.0%	住み続けたい 計 75.4%
内、ずっと住み続けたい 43.6%	内、ずっと住み続けたい 2.5%	内、ずっと住み続けたい 23.1%
好意度・住続意向とも8割を超え、町全体の評価は良好。	好意度は全体並みだが「いずれ転出」が45.0%と、好意が定住に結びついていない。	好意度が全体を下回り、永住意向は4人に1人。

まちの好意度や住み続けたい意向が非常に高く、この強みを若年層・子育て層の「この町で暮らし続ける」という選択にどうつなげるかが課題と捉えています。

項目別評価

視点	代表的項目	項目評価 (TOP2)	若年子育て層の特徴
自然	空気がきれい	91.8%	子育て層 92.3%、世代共通の強み
食	地元の安全な農作物が手に入る	86.6%	子育て層 93.8%、子育て環境の訴求資産
安全	町や地域に守られている	69.9%	30代 51.0%、子育て層 56.9%と全体より低い
家族	家族と過ごす時間が楽しい	80.7%	子育て層 90.8%、家庭生活は高評価
子ども	学校・保育園に行くのが楽しそう	82.4%	子育て層 84.4%、学校生活も高評価
住まい	希望する住宅を見つけやすい	23.8%	30代 6.1%、40代 9.8%、子育て層 9.2%と極めて低い
移動	町外の学校・買い物・病院へ出かけやすい	41.9%	子育て層 24.6%、町外アクセスに課題
医療	病院や薬局に行きやすい	48.4%	子育て層 18.5%、医療アクセスに課題
将来	年をとっても生き生きと暮らせる	51.6%	30代 36.7%、40代 42.6%、子育て層 36.9%
	町・自分の将来に希望が持てる	32.5%	子育て層 38.5%、全体でも将来展望が弱い
子ども	子どもがスポーツをできる環境	41.7%	子育て層 29.7%、子どもの活動環境に改善余地

「自然」「食」「家族」「子ども」の項目は高評価で強みとして維持・発信していきます。一方、「生活基盤」と「将来展望」には改善余地があり、子育て層では特に「安心感」「子どもの活動環境」の改善が焦点となります。

今回のアンケート調査結果は町のホームページに掲載予定です。

町民の満足度や個々の意識を踏まえながら、今後の施策や取組に活かしていきます。

【問い合わせ先】役場まち未来戦略課 まちづくり・情報推進係 TEL：34-7029



保健師の健康小話

～予防は治療に勝る～

【第71回】

「ヘルシー講座」はじまります！

(担当：管理栄養士 大西美颯)

■今年も11月より「骨粗鬆症の予防」をテーマとしてヘルシー講座を全4回開催します

■骨粗鬆症ってどんな状態？

骨粗鬆症は、骨の量や質が低下して骨がもろくなり、骨折しやすくなる状態です。

骨の量は思春期から増え20歳頃に最も多くなり40歳代半ばまで保たれますが、その後は加齢とともに減っていきます。初期には自覚症状はほとんどありませんが、転倒などのわずかな衝撃でも骨折につながる可能性があります。加齢や女性ホルモンの減少など避けられない要因もありますが、運動や食事、生活習慣を整えることで予防につなげることもできます。この機会に自分の骨の健康について学んでみませんか？

■ヘルシー講座とは？

ヘルシー講座では、町民の皆さまが心も体も健康に暮らせるよう、健康づくりに役立つ情報をお伝えし、生活習慣や食生活について一緒に考える講座です。今回は、保健師・管理栄養士による講話のほか、骨密度測定や足指の筋力測定、運動インストラクターによるバランストレーニング、簡単な調理実習と試食を予定しています。

気になる講座だけの参加も大歓迎です。ご興味のある方は、ぜひお気軽にお申し込みください。

◎ヘルシー講座のご案内 ～骨粗鬆症予防～

【日 程】

①11月16日(月) 13:30～15:00	保健師講話「骨粗鬆症のお話」 からだ見える化！「InBody」 踏ん張る力をチェック！「足指力計測器チェッカーくん」
②12月14日(月) 13:30～15:00	運動講座「転倒予防～家でできるバランストレーニング」 骨量をはかろう！「超音波骨量測定」
③1月25日(月) 10:00～12:00	栄養講話「骨粗鬆症を予防しよう～骨を守る栄養素を知ろう」 献立紹介・試食
④2月15日(月) 10:00～12:00	栄養講話「骨粗鬆症を予防しよう～バランスの良い食事を知ろう」 調理実習・試食

【場 所】 すこやかセンター

【申込方法】 右記QRコードもしくは、電話にてお申し込みください。
(役場こども・くらし応援課 TEL：34-7031)

【申込期限】 11月13日(金) まで



11月の 保健・介護予防 行事

- ヘルシー講座 16日(月) 13:30～15:00 すこやかセンター
- 秋の住民健診 24日(火) 7:30～ すこやかセンター
- モグモグ☆クッキング 25日(水) 10:00～11:30 すこやかセンター
- 認知症物忘れ相談 24日(火) 10:00～11:30 商業活性化施設ココワ研修室
30日(月) 10:00～11:30 碧水地域支え合いセンター

※変更になる場合がありますので、防災無線等でご確認ください。

議会だより

定例会

令和8年第3回定例会は9月15日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

■調査期日…6月30日（火）

■調査事項…防災対策の取組状況について

■調査結果…指摘事項なし

■調査期日…7月13日（月）

■調査事項…ひまわりの里の開花状況及び運営状況について

■調査結果…指摘事項なし

■調査期日…9月2日（水）

■調査事項…社会教育事業の実施状況等について

■調査結果…指摘事項なし

同意

○教育委員会委員の任命について

佐藤 裕子 氏（再）
○公平委員会委員の選任について

松本 和宏 氏（再）

○固定資産評価審査委員会委員の選任について

藤田 延介 氏（新）

原案可決

○北竜町商業振興施設の設置及び管理に関する条例の制定について

○令和8年度北竜町一般会計補正予算（第5号）について

○令和8年度北竜町介護保険特別会計補正予算（第1号）について

○令和8年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業会計補正予算（第1号）について

報告済

○株式会社北竜振興公社の経営状況を説明する書類の提出について。

認定

○令和7年度北竜町一般会計外5会計（国保・診療所・後

期高齢・介護・特老）の歳入歳出決算認定と令和7年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業会計決算認定と令和7年度北竜町簡易水道事業会計決算認定について
決算審査特別委員会（尾崎圭子委員長）を設置し、その審査を付託、休会中に審査を行い認定されました。

意見書提出

次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。
○国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書
○農産物の安定生産と再生産費の堅持を求める意見書

活動報告

【10月】

2～3日…空知町村議会議長会第2回総会
13日…JAきたそらち広域小麦・大豆乾燥調製貯蔵施設増設に係る起工式

活動予定

【11月】

6日…北空知地区監査委員・補助職員研修会（監査委員）
7日…さっぽろ北竜祭
9～10日…空知町村議会議長会道外行財政制度政務調査
10～11日…第70回町村議会議長会議長全国大会
16日…総務産業常任委員会、北空知議会議長連絡協議会副議長会議
19～20日…北海道監査委員・補助職員研修会（監査委員）
24～26日…北竜町議会道外先進地政務調査
27日…中・北空知廃棄物処理広域連合議会定例会
未定…例月出納検査（監査委員）

14日…新潟県出雲崎町議会視察受入
15日…総務産業常任委員会、第5回地方創生トーク
21日…議会カフェ
22日…例月出納検査（監査委員）

一般質問

9月15日に開会された第3回定例会では、5名の議員から6件の一般質問がありました。



寺垣議員

北竜町における防災体制 及び災害時における対策 と今後の課題について

寺垣議員

近年、全国各地で自然災害が激甚化・頻発化している中、地方自治体においては想定を上回る規模の災害が発生した場合、地域の実情や発生時の条件により対応策が十分に機能しない事態も想定される。

北海道においても、豪雨災害や暴風雪のリスクが高まりつつある昨今の状況を踏まえ、本町においても「災害はいつどこで発生してもおかしくない」という危機感のもと、防災・減災対策及び災害に強い町づくりを推進しているものと認識しているが、改めて町の防災体制や災害時における対応策と今後の課題について理事者の見解を伺う。

佐々木町長

全国各地で自然災害が多発し、その被害も深刻化している。北海道においても記録的な大雨や暴風雪などにより、道路の通行止めや停電、深刻な農業被害が起こるなど、住民生活に大きな影響を及ぼす災害が発生している状況を踏まえ、危機意識をより一層高め防災対策に取り組むことが重要であると認識をしている。

本町では、災害発生時には地域防災計画に基づき災害対策本部を設置し、消防、警察、自衛隊、北海道などの関係機関と連携しながら、住民の生

命と安全の確保を最優先し、気象情報や河川情報等を的確に把握しながら必要に応じて避難情報を発令するなど、迅速な対応ができるように努め、災害発生時には正確な情報を迅速に町民の皆様へ伝えられるよう、防災無線や広報車、町ホームページによる情報伝達、避難所の開設、防災備蓄倉庫での防災備蓄品の充実に努めるとともに、高齢者や要配慮者への支援など、平時からの備えの強化を図っている。

今後の課題としては、高齢化や人口減少を踏まえた地域防災力の維持・向上・要配慮者への支援体制、地域自主防災組織の構築と設立による自助、共助、公助のバランスの取れた防災及び支援体制の充実に努めつつ、想定を上回る災害への対応を検討していく。

過去の町内での地震、竜巻被害、河川氾濫や農地浸水などの災害事例を整理し、「100年に一度の災害」想定を超過する事例も発生する状況か

ら、想定数値の見直しも急務であると考えます。併せて、本町役場庁舎の防災拠点としての機能適切性の検討も進め庁舎建て替えも視野に入れ再配置計画に反映し、町のアクションプラン項目である災害時における町内民間機関との協定整備や防災マネージャーの招聘など必要と思われる施策の推進に努めます。

町民、地域、消防などの関係機関との更なる連携を深め、計画的な備蓄物資や資機材の整備、日頃から防災意識の向上や避難訓練の実施、防災対策の充実を図り「災害に強く、安心して暮らせる町づくり」の実現に向け、引き続き防災・減災対策に取り組むを進めていく。



林議員

みんなのクルマひまわりの利用拡大について

林議員

令和7年10月から運行を開始した「みんなのクルマひまわり」は、町民の移動手段として利用されており、町民からも大変ありがたいとの声も多く聞かれています。

一方、町外に住む家族が、町民の高齢者の通院などに付き添う場合、町民ではないため利用できない。町外在住の

家族等も、町民に付き添う場合には利用できるよう制度を拡大し、今後、地域公共交通の利便性をさらに向上させていくためにも、町長の見解をお伺いしたい。

佐々木町長

現在は町民の移動手段確保を優先しているが、制度上の課題について国や交通事業者、近隣自治体と協議してい

る。今後、国が進める交通空白の解消や地域交通の共同化・協業化の制度を活用し、利便性向上を図る。

また、令和9年度頃に制度化が見込まれる「ふるさと住民登録制度」により、登録者を町民扱いとして「ひまわり」を利用できる仕組みも検討している。観光客についても、

深川駅や滝川駅などの交通結節点から観光地への移動手段確保を検討していく。

利用状況や運転手不足などを踏まえ、10月から運行内容の見直しも行う予定。一人暮らしの高齢者についても、タクシー利用を含め必要な移動手段を確保できるよう対応していく。



林議員

一年を通じた町内への 集客に向けて

林議員

本町では、ひまわりをはじめ、スイカやメロンなど農産物を活用した販売が行われている。近隣自治体で行われている米のクレーンゲームやガチャガチャは、子どもから大人まで楽しみながら商品に関心を持つきっかけとなり、特産品のPRや売上向上につながる。北竜町でも導入を検討してみてもどうか。

佐々木町長

通年で収益性のある観光拠点づくりを進める中で、ゲーム性を取り入れた販売は町を訪れる新たなきっかけになる。近隣自治体の事例や費用、収益性などを調査し、関係機関と協議しながら、町の認知度と集客力を高める取り組みを検討する。

川本まち未来戦略課長

本年度ガチャガチャを3台

購入し、札幌市や浜頓別町のイベントで活用した。特産品を景品として提供し好評を得

ており、今後もイベントで継続して活用していく。



木村議員

ひまわりの里ひまわり畑の 大雨による排水及び土砂流出対策について

木村議員

ひまわりの里のひまわりドアが設置されている圃場の一部が大雨によって土砂が流出した。これを改善する対策として、圃場の最上部に深さ1メートル程の明渠排水を掘り、雨水を横に流し、上部の圃場から暗渠排水を繋ぐ方法が有効だと思う。

また、圃場の水が集中してくる下流には、魚の骨のような形で暗渠対策をし、明渠排水に繋ぐことで改善出来ると思うが理事者の見解を伺いたい。

佐々木町長

6月13日に発生した集中豪雨により、ひまわりドア設

置圃場において土砂が流出した。

現在、同様の被害が発生した場合を想定した排水及び土砂流出対策について、指定管理者と協議を進めており、次シーズンに向け、ひまわり観光協会をはじめとする関係機関と連携し、来訪者の安全確保や周辺環境への景況等を十分考慮した上で、適切な対応について検討する。

木村議員

圃場の暗渠排水は、透水性のよい砂利を使用するなどの施行を行えば耐用年数は20年〜30年は対応出来るのではないかと思います。積極的に取り組んでいただくよう要望する。

皆様へ！ お話がしたいです
その声をまちづくりに活かします！

お気軽に町長室にお立ち寄りください。
公務や事務打ち合わせなどの予定が入る場合もありますので、
事前に電話をいただければ幸いです。

■役場総務課 TEL：34 - 7028





沖野議員

公営合同墓の設置について

沖野議員

近年、少子高齢化や核家族化が進み、お墓を代々引き継いでいくことが難しくなってきた。

また、町内の霊園においても、無縁墓となりつつある墓が見受けられる。

道内においては、合同墓の設置を進めている自治体が増えていくが、本町においても合同墓を設置する考えがあるのか。

佐々木町長

中央霊園は昭和48年度に条例設置されており、以後数回の区画拡大を行い現在の形となっている。

少子高齢化や核家族化の進展に伴い、お墓を維持管理していくのが困難な家庭が増えてきている現状や、お墓に対する価値観の変化などから、

遺骨をお墓ではなく納骨堂などに納めて供養する方や、墓じまいをしたり検討されている方が増えてきていることは理解している。



澤田議員

最新型肺炎ワクチンの接種助成事業の実施について

澤田議員

従来の肺炎球菌ワクチンであるプレベナー20は、公費による定期接種の対象となっている。一方、2025年に発売されたキャップバックスは、日本人に適合する効率的な肺炎予防が期待され、生涯に一度の接種でよいとされている。

近年、自治体をはじめ宗教法人等による合葬墓の整備や検討がなされていることは承知している。

町民ニーズの把握等や他自治体が運営する合葬墓の調査等も行った上で、必要性を検討していきたい。

また、公営で建てるのか民間の力を借りて建てるのがよいのかも検討したい。

物価高騰等で高齢者にとつては、ワクチン接種にかかる費用は大きな負担となっている。人口減少が進む社会において、高齢者の健康維持は町の経済や社会にも大きな影響を与えている。最新の肺炎ワクチン接種のための助成事業を提案するが町長の考えをお聞きたい。

佐々木町長

肺炎は重症化すると命に関わるだけでなく、回復後も呼吸機能や筋力の低下などにより生活機能が低下し、要介護状態につながる可能性がある。健康寿命への影響も大きく、予防は重要と認識している。

現在、65歳の方などを対象とした定期接種では、自己負担4,000円となるよう約7,000円を助成している。

また、定期接種の機会を逃した66歳以上の方には、初回接種に限りワクチンの種類に関わらず5,000円を助成している。

澤田議員

キャップバックスワクチンについても5,000円の助成対象となっているということとでよいのか。

効率がよく、生涯に一度の接種でよいとされていることから、町民の健康維持のため、50代後半から60代前半の方も助成対象としてはどうか。また、肺炎球菌ワクチンや帯状疱疹ワクチンは接種率が低い

と思われるため、健康教室や老人クラブ、町内会などを活用して、町民への周知を図ってはどうか。

佐々木町長

国の予防接種法に基づく任意の予防接種については、ワクチンの種類にかかわらず5,000円を助成している。町民への周知については、健康教室、老人クラブ、町内会などでPRに努めていく。

50代から60代の方への助成については、町独自の対策となるため財源等を含めて検討していく。



■ 議員の賛否の公表（北竜町議会では予算議会における議員の賛否を公表することとしています）

令和 8 年第 3 回定例会（会期：9 月 1 5 日～1 8 日）

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 －：議長の為賛否無し

▽議 案 件 名	沖野	林	寺垣	佐藤	木村	澤田	尾崎	中村
教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	－
公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	－
固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	－
北竜町商業振興施設の設置及び管理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	－
令和 8 年度北竜町一般会計補正予算（第 5 号）について	○	○	○	○	○	○	○	－
令和 8 年度北竜町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）について	○	○	○	○	○	○	○	－
令和 8 年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業会計補正予算（第 1 号）について	○	○	○	○	○	○	○	－
株式会社北竜振興公社の経営状況を説明する書類の提出について	○	○	○	○	○	○	○	－
本会議における質疑の件数	質疑 0 件	質疑 0 件	質疑 0 件	質疑 0 件	質疑 0 件	質疑 2 件	質疑 0 件	－

決算審査特別委員会（9 月 1 6 日～1 7 日）

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 －：委員長・監査委員の為賛否無し

▽委 員 会 付 託 案 件	沖野	林	寺垣	佐藤	木村	澤田	尾崎	中村
令和 7 年度北竜町一般会計歳入歳出決算認定について	－	○	○	○	○	○	－	○
令和 7 年度北竜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	－	○	○	○	○	○	－	○
令和 7 年度北竜町立診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	－	○	○	○	○	○	－	○
令和 7 年度北竜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	－	○	○	○	○	○	－	○
令和 7 年度北竜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	－	○	○	○	○	○	－	○
令和 7 年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算認定について	－	○	○	○	○	○	－	○
令和 7 年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業会計決算認定について	－	○	○	○	○	○	－	○
令和 7 年度北竜町簡易水道事業会計決算認定について	－	○	○	○	○	○	－	○
決算審査特別委員会における質疑の件数	－	質疑 1 件	質疑 12 件	質疑 1 件	質疑 1 件	質疑 13 件	－	質疑 9 件

決算審査特別委員会における議員質疑（意見附与・修正を求めた質疑）

質疑内容	答弁内容
・ふるさと納税推進事業について 北竜町における「ふるさと納税」については、大変貴重な財源であり今回、ふるさと納税一括代行業務委託として町内での納税事務を行うために代行業者と包括連携協定を締結し事務所開設に至ったが、今後のふるさと納税の大幅な伸びと費用対効果に期待するところである。事務所開設における初期投資もあることから、十分な連携をとり目標の達成に尽力されたい。	昨年からの米価の変動を勘案し、今年の目標値を設定している。 今後も、J A と協議を重ね、委託業者と連携し目標達成を目指す。



議会基本条例。北竜町議会では、平成23年3月に策定しました。この条例は議会運営に係る様々なことが記されており、議員の資質向上に関することも明記されています。また、議会の活動を町民に評価してもらうために報告会を少なくとも年1回開催し、説明責任を果たすよう定めています。

議会報告会は、かつては対面方式でどちらかといえば一方的な説明により行っていました。が、より身近にということでした。昨年、昨年から「議会議カフェ」と称しカフェ形式により開催してきました。その際は、ひざを交

え身近に語らうことができ、成果があったものと思っています。本年の報告会は、3回目の議会議カフェにより、商業活性化施設ココワにおいて、10月21日に開催することができました。「むすびば」が8月29日、老人福祉センターにオープンしました。カフェの雰囲気の中、飲み物を飲みながら語ることができ、からお年寄りまで誰でも気軽に集い、交流ができる場として活用されるものと期待しています。議員が出向いて、町民の

皆様と気軽に懇談する機会を作っていくと考えられています。そして、議員との親近感や交流を深め、町政に対するご意見やご要望を集約していきたいと思えます。そのことにより、議員の立場や役割を理解してもらいながら、新たな議員候補者の発掘ができれば申し分ないと思います。老人福祉センターでは、「おむすび」が常設となり、「ひまりエ」が9月27日にオープンしものづくりの発想を喚起するものとして期待されています。新たな取り組みが目白押し。北竜町。今後が楽しみです。(中村 尚二)

国民年金

社会保険料(国民年金保険料) 控除証明書が発行されます

～年末調整・確定申告まで大切に保管を～

- 国民年金保険料は、所得税及び住民税の社会保険料控除の対象になります。
- 社会保険料控除を受けるためには、納付したことを証明する書類の添付が必要です。
- ご家族の方の国民年金保険料を納付した場合も納付された方の申告に加えることができます。

■ 保険料納付と社会保険料(国民年金保険料) 控除証明書の送付時期

国民年金保険料の納付	控除証明書の送付
令和8年1月1日～9月30日までの納付	令和8年11月上旬
令和8年10月1日～12月31日までに今年初めての納付	令和9年2月上旬

※ただし、9月下旬から10月上旬にかけてコンビニエンスストアで保険料を納付された一部の方は、11月中旬に「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」を送付する予定です。

【社会保険料(国民年金保険料)控除証明書についての問い合わせ先】

TEL: 0570-003-004 (ナビダイヤル)



今月の行政相談

毎日の暮らしの中で行政が行っている年金、道路、河川、窓口サービス等に対する、不満や苦情、または要望や意見などを受け付けています。

相談は無料で、口頭・電話・手紙での相談はいつでも受け付けています。

【今月の定例相談日】

11月17日(火)

13時30分～15時30分

【場所】

老人福祉センター

【行政相談委員】

長谷川秀幸

TEL 34・2611

高齢者運転免許証

自主返納時の送迎日

65歳以上の方で運転免許証を自主返納される方を対象に、自宅から深川警察署沼田警察庁舎まで送迎を行います。

【11・12月の送迎日】

■ 11月19日(木)

※申し込み期限11月13日(金)

■ 12月17日(木)

※申し込み期限12月14日(月)

【申し込み先】

役場こども・くらし応援課

戸籍・町民生活係

TEL 34・7030



休日当番医

月日	医療機関名	医療機関名(歯科) ※診療時間 は9時～12時
11/1 (日)	深川市立病院 (担当医・納内診療所 所長 己斐幹生) TEL 22-1101	若葉台病院 TEL 0125-75-2266
11/3 (火)	斎藤整形外科医院 TEL 23-3737	
11/8 (日)	深川市立病院 TEL 22-1101	多比良歯科医院 TEL 0125-54-3510
11/15 (日)	深川市立病院 TEL 22-1101	ひらやま歯科 TEL 0125-72-2323
11/22 (日)	深川市立病院 TEL 22-1101	
11/23 (月)	斎藤整形外科医院 TEL 23-3737	
11/29 (日)	深川市立病院 (担当医・みきた整形外科クリニック 院長 三木田光) TEL 22-1101	ぬまくら歯科 TEL 22-5615

ちびっこひろば

○日時 11月18日(水)
10:00～11:30
場所 子育て支援センター
内容 室内遊び



ピカピカキッズ

○日時 11月6日(金)
10:00～11:30
場所 すこやかセンター
内容 保健師講話

○日時 11月28日(土)
10:00～11:30
場所 老人福祉センター
内容 おむすび
「森田先生の運動遊び」

北竜町地域子育て支援センター
TEL : 34 - 8802

■ 夜間急病テレホンセンター TEL : 22 - 4100

※急病のため夜間・深夜・土曜日の午後から診療を受ける場合は、夜間急病テレホンセンターに電話をしてから受診してください。

マイナンバーカードの 時間外窓口について

左記の日程でマイナンバーカード関連手続きの窓口を開設します。事前の電話予約が必要となりますのでお間違いないようお願いいたします。

※時間外窓口では転入・転居・転出などの住所の移動、印鑑登録、証明書発行業務等は行いませんのでご注意ください。

【日時】 11月16日（月）
11月20日（金）

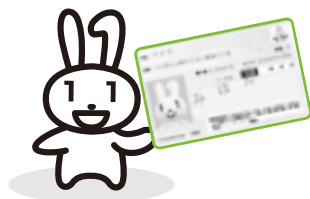
いずれも19時迄
※電話予約必須

【問い合わせ先】

役場こども・くらし応援課

戸籍・町民生活係

TEL 34・7030



令和8年度 自衛官等募集案内

●2等陸・海・空士

【応募資格】 日本国籍を有し、採用予定月の1日現在、18歳以上33歳未満の男女

【受付期間】 通年

【試験期日】

12月13日（日）・14日（月）
のどちらか1日

【試験会場】

陸上自衛隊旭川駐屯地
（旭川市春光町）

【問い合わせ先】

自衛隊旭川地方協力本部
旭川地区隊

TEL 0166・55・0100

■役場総務課総務係

TEL 34・7028

■募集相談員

加藤 幸・松本 浩章・寺垣 信晃

11月30日は

個人事業税第2期納期限

個人事業税第2期分の納付書は、8月に第1期分と併せて送付していますので、お確

かめの上、キャッシュレス納税・金融機関・郵便局・コンビニエンスストア（1枚の金額が30万円以上のものを除く）・深川道税事務所（納期限までに納めてください。納付書が手元に無い場合、深川道税事務所に連絡ください。

【問い合わせ先】

空知総合振興局深川道税事務所
TEL 23・3578

家屋の新築、増築、解体、所有者の変更は税務係へ

家屋（車庫・倉庫等）の固定資産税は毎年1月1日に家屋を所有している人に対して課税されます。

こんな時は、役場こども・くらし応援課税務係までお知らせください。

■家屋を新築・増築された時

■家屋を取り壊した時

■家屋の所有者が変わった時

一部または全部の取り壊しをした場合や年内に取り壊す予定がある方は、来年度からその解体部分は課税の対象か

ら除かれます。皆様のご協力をお願いいたします。

【連絡・問い合わせ先】

役場こども・くらし応援課
税務係
TEL 34・7030

特別徴収による

納入について

「特別徴収」は、給与の支払者である事業主が、従業員に毎月払う給与から個人住民税額を差し引いて市町村に納入する制度です。

年税額を12回に分けて支払うため、普通徴収（7月・11月の年2回）よりも1回あたりの負担が少なくなり、従業員一人ひとりが金融機関等へ納税に向く手間も省け、納め忘れもありません。特別徴収へのご協力をお願いします。

【問い合わせ先】

役場こども・くらし応援課
税務係
TEL 34・7030

北竜町の事件・事故の発生状況（9月末現在）

犯罪の発生件数

	空き巣	工事場狙い	置き引き	粗暴犯	その他	合計
2026年	0	0	0	3	2	5
2025年	0	3	0	2	1	6

交通事故の発生件数

人身事故		物損事故	
2026年	0	2026年	32
2025年	0	2025年	38

警察だより

冬の路面は急変化
スリップ招く
急ぐ心にブレーキを

■冬の全国交通安全運動
11月13日～11月22日

【ドライバーの皆さんへ】

①歩行者や自転車を見落としやすくなる薄暮の時間帯から夜間の交通事故を防ぐため、交差点や横断歩道近くでは速度を落とし、安全確認を徹底しましょう。

②信号機のない横断歩道を横断しようとする歩行者等がいる場合は、必ず横断歩道の手前で一時停止し、手で合図（ハンドサイン）をして横断を促しましょう。

③降雪に対応できるよう、早めのタイヤ交換を行い、冬タイヤに交換後は、ナットの緩みなど異常が無いかを定期的

に点検し、ナットの増し締めを行ってタイヤの脱落事故を防ぎましょう。

④急ブレーキ、急ハンドル、急発進はスリップの原因となり、特に日陰や橋の上、トンネルなどでは、路面が凍結している場合がありますので注意が必要です。

⑤令和8年9月1日から中央線等がない道路における自動車の法定速度は時速30kmです。市街地の生活道路だけではなく、郊外部でも中央線等がない道路が多くあります。

積雪などで中央線等が見えない場合は、路面と天候状況に応じた、安全な速度で思いやりのある運転を心がけましょう。

【歩行者の皆さんへ】

①外出の際は明るい色の服装や反射材を身に付けて、自分の存在を目立たせましょう。

②横断歩道を渡る時は、手をあげる等の合図をして道路を横断する意思を伝えましょう。

③横断前の安全確認はもちろん、横断中も常に左右の安全を確認しましょう。

まちの動き

10月1日現在（前月比）
世帯数 778世帯（-5）
人口 1,543人（-7）
男 749人（-2）
女 794人（-5）
（外国人含）

サンフラワーパーク北竜温泉 休館のお知らせ

TEL: 34-3321

施設メンテナンスのため下記の日程で休館致します。

11/9（月）～13（金）：全館休館
11/14（土）～：通常営業

熊本県並びに熊本県氷川町に 義援金を送付しました

北竜町では、7月28日に発生した熊本地震により被災された熊本県並びにドラゴンサミット構成町でありました熊本県氷川町（旧竜北町）への災害支援義援金を送付いたしました。

氷川町は、平成17年10月1日に竜北町と宮原町が合併し誕生した町で、旧竜北町は、北竜町とも親睦のあった町です。

この度の震災に対し、町では観光センター・すこやかセンターで義援金募集を行うとともに、町内各団体にも支援の要請を行いました。

義援金の総額は662,913円で、内200,000円を熊本県に、462,913円を氷川町に送付いたしました。また、氷川町にはペットボトル飲料水3,000本を提供しております。皆様のご善意に感謝申し上げます。

義援団体：北竜町、北竜町議会、きたそらち農業協同組合北竜支所、北竜土地改良区、北竜町農業委員会、北竜町農民協議会、その他一般町民

～北竜町社会福祉協議会からのお知らせ～

みんなの広場「おむすび」では11月28日（土）に、役場こども・くらし応援課、N - I i n k（沼田町）、子育て支援センター、社会福祉協議会の合同企画で「ワイヤークラフト」と「糸巻きガーランド作り」を行います。詳しくは今月号の折り込みチラシをご覧ください。

■おむすび・むすびば 開放日：平日

■利用時間：9時～17時

【問い合わせ先】 北竜町社会福祉協議会 担当：村井 恵（コミュニティソーシャルワーカー）
TEL：34-2435 / 携帯電話：090-2818-2435（直通）
※相談支援業務も行っています。お気軽にご相談ください。

戸籍の窓口

■お悔やみ申し上げます

和東町 加地 キミ子 氏 97歳

（9月16日死去）

和 宮脇 衣子 氏 95歳

（9月22日死去）

西川 山崎 ふさ 氏 97歳

（9月25日死去）

ご厚志

ありがとうございました

生前のお礼として

社会福祉協議会へ

和 宮脇 正博 様

西川 山崎 稔 様

春夏秋冬

水音の遙か刈田の深呼吸

黄熟の稲田明かりに暮れ残る

鹿獺の発砲音が裂く朝

手鏡の白髪に向う紅葉山

秋彼岸一步近づく母の味

秋桜が風に揺れいて朝かな

「むすびば」に集う笑顔や秋日和

山本 玲子

山岸 正俊

阿部 れい子

山下 好晴

佐藤 美智子

南 秀幸

吉尾 広子

インタビューメディア『ひまわりのまわり』更新情報

北竜町できらりと光る町民を紹介するインタビューメディア『ひまわりのまわり』。10月は、キャリアデザインキャンプに参加した「高橋和希さん、高橋健斗さん、堂前音娃さん、佐藤璃奈さん」の座談会記事、林業を営む自然下の「上井達矢さん・仁美さん」の記事をアップしました。

令和8年度上半期の記事をまとめた『ひまわりのまわり冊子版』も全戸配布していますので、ぜひ読んでみてください。今後の更新もお楽しみに！

【問い合わせ先】 役場まち未来戦略課 TEL：34-7029



https://note.com/himawari_mawari

北竜町中学生 短期語学留学助成事業 参加報告

北竜町では、中学2年生までに英語検定3級以上を取得した中学生に対し、北竜町中学生短期語学留学助成事業を行っています。今年度は中学3年生3名が、8月11日から21日の11日間、オーストラリアのケアンズへ留学しました。留学を終えた3名より感想文をいただきましたのでご紹介します。



深瀬 舜介さん 小菅 陽貴さん 大井 成蓮さん

『新しい環境』

北竜中学校3年
大井 成蓮

私は8月11日から21日までの11日間、オーストラリアへ短期留学に行きました。初めての海外旅行だったため、とても楽しみな反面、日本とは環境が違うので少し心配もありました。オーストラリアに着くまでには飛行機で片道7時間ほどかかり、長時間座っていなければならなかったのが大変でした。

ホームステイ先に到着すると、ホストマザーが簡単な単語を使って挨拶をしてくれたので、とても助かりました。

現地での生活では、午前中に英語のレッスンを受け、午後からは観光に出かけるという毎日を送りました。

昼食のサンドイッチの中にリングが丸ごと入っていたことがあり、現地では皮ごと食べることに驚きました。午後からの観光では、コアラを見たりしました。

食事に關しては、朝食と昼食はほぼ毎日シリアルとサ

ンドイッチで、メニューが変わらなかったため少し飽きてしまいました。しかし、夕食は毎日メニューが変わり、主食のような存在だったマッシュポテトがとても美味しかったです。一度カレーが出たときには、日本のお米の美味しさを改めて実感しました。

毎日の流れは決まっていたのですが、ホームステイ先に戻るとルームメイトとバスケットボールをしたり、家で映画を見たりして楽しく過ごせました。ただ、映画は音声も字幕も英語だったため、内容を理解するのは難しかったです。

午後からの観光で一番楽しかったのは、ナイトマーケットです。そこにはオーストラリアならではのものがたくさん売られており、私は帽子を買いました。見ているだけでもとても楽しかったです。

2日間の休日、1日目はショッピングマーケットに行き、見たことのないお菓子を買いました。お土産店と比べると値段が安く、とても良

的だと感じました。

2日目は宗教施設(教会)に行きました。みんなで歌を歌った後、一緒に昼食を食べたのですが、日本の仏教とは雰囲気全然違ったため驚きました。最終日は、短い期間ながらもお世話になったホストマザーやルームメイトとお別れすることになり、とても寂しかったです。

今回の留学を通して、無理に長い文章を話さなくても、簡単な単語だけで十分に気持ちが伝わるのが分かりました。大切なのは「伝えようとする姿勢」なのだと思います。この貴重な経験を活かして、これからも英語の勉強や新しい挑戦を頑張ります。



『オーストラリア留学を終えて』

北竜中学校3年

小菅 陽貴

最初は英語を聞き取れるか、話せるか、トラブルに巻き込まれないか心配でした。



ですが、実際に行ってみると、現地の人はなるべくわかるように言葉を選んでくれているのを感じて、案外英語を理解でき、話すのも身につけた基礎的なものでも十分にコミュニケーションを取れました。今回の留学でたくさんチャレンジして話す経験ができました。日本ほど治安はよくないので、ほぼ常に警戒していましたが、大きなトラブルに巻き込まれることはありませんでした。

留学に行く前と行った後では、自分の英語に自信を持つて話せるか、自分から話しいけるかが、一番の成長した点だと思っています。

今回の一番の思い出は、キュランダ観光でした。キュランダ観光ではケアンズ駅からキュランダ鉄道に2時間ほど乗っていきました。山をゆつくり登っていく途中の景色が日本とは違った力強さを感じる自然でした。また、列車の中で他の留学生と一気に仲良くなったのが楽しく、あつという間の2時間でした。

まずキュランダに着いた

ら、コアラガーデンに行きました。ワラビーに餌やりをしたり、コアラやワニを見ました。次にアーミードックに行きました。元々戦車だったものを改造した乗り物でジャングルの中や池の中を走りました。危険な植物、珍しい蝶々、とても高い木々がありました。最後にアボリジニの方と一緒にブーメランを投げたり、アボリジニダンスをみて踊ったり、槍投げを見ました。アボリジニダンスの最後は観客の人も踊っていて、見ていてとても楽しかったです。ブーメランは投げたらちゃんと戻ってきて、不思議でした。

通常の勉強はスタディセンターでした。日本の堅い感じと違って、海外は先生が元気に話して、話題が逸れても楽しませるのが上手くて楽しかったです。アニー先生はすごく元気で、大事なこともわかりやすい英語で話してくれて、オーストラリアの事、英語を学ぶ事、それ以外の当たり前のことについて授業をしてくれました。「失

敗を恐れないで。私はミスが好きです。英語を聞いているだけでも役に立つよ」と教えてくれました。

そして、日本に帰ってきた時の安心感と疲労感がすごかったです。日本に着いてから気が抜けて忘れ物をしそうになることが何回かありました。そのくらい日本に信頼を持っているんだなあと実感しました。

それから、大阪はすごく蒸し暑くて苦しかったので、オーストラリアでのその点はかなり快適でした。今回の留学でお世話になった方達に感謝し、今まで日本ではもっとお世話になっていることを実感した留学でした。



『オーストラリアでの経験』 北竜中学校3年 深瀬 舜介

オーストラリアでは日本との違いや、外国の楽しさ、現地での生活など様々なことが知れました。

1日目の8月11日の19時15分に関西国際空港に集合でしたが14時半ぐらいに関空につきオーストラリアドルに両替を行ったりフードコートなどで時間を潰しました。この時はまだみんなといわれたから安心できていました。集合時間になり21時45分のジェットスターの飛行機に乗りオーストラリアへと向かいました。

次の日はホストファミリーと合流して、英語レッスンをやり、午後からは街を歩きアイスクリームを買いました。ケアンズの街並みは北竜と少し違い自然もありながら、しっかりと道などは舗装されていたり、駅などもあり、インフラがしっかりしていました。

2日目以降は通常通り英語レッスンをお昼までしてから

コアラ&クリーチャーズやキュランダ観光、博物館、ケアンズ水族館見学、ショッピングなどケアンズでしかできないことや自然、文化などを感じることのできる生活を過ごしていました。

計6回の英語レッスンを通して洋楽の意味を日本語に直して発音することや、最初のスベルから単語を当てるジェスチャーゲームなど、伝えることや聞くことを伸ばすことのできる授業でした。

北竜では第40回のみわり祭りがあり他にも沼田町のあんどんなどたくさんのお祭りがあり、行きたかったと思う日もありましたが、減多に経験できないことだったため行ったことの後悔はありません。オーストラリアでの練習のおかげで大勢の人の前で話すこと、発表すること、自信を持つてできるようになりました。

オーストラリアで行った場所のできたことは、コアラガーデンではコアラを抱っこでき、蛇にも触れ、オーストラリアの爬虫類なども見るこ

ができました。

キュランダ観光では、電車に乗って大自然の中を進み、景色もよく、着いたらカンガルーの餌やり体験やワニ、コアラなどを見た後に、アボリジニのダンスや狩りの仕方を見せてもらいました。

博物館ではオーストラリアの歴史、ケアンズ水族館ではウミガメの保護や現地の海の動物を見ることができました。

最終日の21日は飛行機に乗せる荷物の制限にドキドキしながら過ごす一日でした。8時間飛行機に乗り、日本に着いた瞬間に安心感が溢れてきました。

次の日は一日大阪で観光でき、北竜との利便性の違いを実感できました。関空から新千歳まではとても短く感じ、北竜が近くなってきた嬉しく感じていました。新千歳空港では時間があつたからゆっくりでき、北海道を堪能できました。札幌駅に行き、深川駅までは一瞬に感じすぐ着きました。少しやり残した感じがありますが楽しい11日間でした。





協力隊×支援員レポート

現在町内で活躍中の地域おこし協力隊員と集落支援員の活動をご紹介します。

地域おこし協力隊員は都市部から移住し、まちの課題解決や魅力向上に取り組んでいます。集落支援員は地域に根ざした守り手として、地域の実情に精通した方々が集落機能の維持のため日々活動中です。今月は集落支援員の滝上和昭さん、櫻庭賢一さん、星野忠雄さんの活動をご紹介します。

滝上 和昭さん・櫻庭 賢一さん・星野 忠雄さん



滝上 和昭さん 櫻庭 賢一さん 星野 忠雄さん

北竜町の基幹産業である農業を支え、持続可能な地域づくりを進めるため、3人は集落支援員として活動しています。

3人は、きたそらち農協で長年にわたり活躍され、現在は町産業課に在籍しています。農業の現場で培った知識や経験を生かし、農業を支援するとともに、集落の維持や活性化に向けたさまざまな取組を行っています。

町民の皆さんにとっては、顔なじみで気軽に相談できる存在です。町のことをよく知る「身近な相談相手」として、農業者が抱えるさまざまな課題に寄り添いながら、町の暮らしや農業を支える活動に取り組んでいます。

北竜町公式 LINE 友だち募集中！

北竜町公式LINEアカウントを7月9日より、開設しています。まちのお知らせやイベント情報、熊の目撃情報などをより早くお届けします！ ぜひ、友だち登録をお願いします！

【問い合わせ先】

役場まち未来戦略課 魅力発信係 TEL：34 - 7029

友だち登録はこちら

二次元コードから追加



LINEアプリの「友だち追加」から左記のQRコードを読み取って登録。

ID検索から追加

LINEアプリの「友だち追加」の「検索」から下記IDを入力して登録。

LINE ID

@hokuryutown



診療所 だよ



No. 337
診療所長 浦本幸彦

毎日 できること

霜月、そろそろ雪もちらつく季節です。

雪が降ってくると生活も一変しますよね。寒いし道は滑りやすくなるし。

そうです、犬と雪遊びが好きな少数派以外は運動することが極端に少なくなります。

先月は食事のバランスについてお話ししましたが、今回は運動についてです。

診察の際に毎回食事や運動について質問します。

厚生労働省は生活習慣病の療養指導をしなさいとルールを定めました。(前からやっていましたが) 毎回同じ質問をしなければいけません。患者さんもお医者さんも飽きますよ。でも飽きないようにしてくださいと丸投げします。そりや霞が関のビルの中で考えるならなんぼでも好き勝手なことが言えますわな。現場では「何か体に良いこと、運動はしてる?」

「いえ、家の事だけです」

「いえ、仕事だけです」

そりやそうだな。仕事で疲れて帰宅後に運動はないわな。

ならば我々に進歩はないのか? まあ皆さんが努力して運動習慣を習得すれば良いだけの話なんです。

実は家事炊事など家の事を動かす仕事の方はそれだけで結構なカロリー消費をしています。短時間軽い運動するよりは多くのエネルギーを使っています。

それならいいじゃん。あえて運動しなくても。

いやいや今日のポイントが、ここですよ。

食事の偏りのないバランスが大事だと述べました。運動も然ります。

家事、仕事を含め日常生活動作では動きに偏りがある場合が多いようです。手指や手を痛めたり腰や首を酷使したりバランスが悪い方が多いですよ。

体全体の筋肉や関節を使い、筋肉に負荷のかかる筋トレ系の動きや、ストレッチ効果を狙った柔軟体操、少し息が上がる程度の心肺能力を鍛える有酸素運動など、運動には沢山の種類があります。

また食事と一緒にバランスと共に量も重要です。運動の負荷や回数が少なければあまり体の為にはなりません。楽なことをしても身には付かないということです。

えーハードルが高杉晋作。そう、最初から完璧にこなそうと考えるとスポーツクラブに入会し個人トレーニングを頼まなければなりません。そんなことは要求していません。何でも完璧にしようとする日本人の悪い癖です。

まずは毎日できる簡単なことから始めましょう。

朝起きたらお布団の上で体を曲げたり伸ばしたりひねったり。お天気が良ければ朝の散歩をお勧めします。散歩しながら体操も良いですね。

冬は階段を使った踏み台昇降も良いですね。

一つだけからいいんです。面倒くさがらずに毎日できる事を続けてみましょう。運動習慣が身につくといろんな運動も取り入れたいくなります。そうすれば健康の方からすり寄ってきます。

北竜町立診療所

休診日のお知らせ

11月25日(水)は午後1時30分より、浦本先生が深川市において介護認定審査会に出席のため、午後より休診となります。

子どもと高齢者のふれあい事業 「ふれあい農園収穫祭」を開催

9月5日、ふれあい農園において子どもと高齢者のふれあい事業ふれあい農園収穫祭を開催しました。じゃがいもやにんじんなどたくさんの野菜を収穫し、収穫した野菜を使ってふれあい推進委員の皆さんがカレーを作ってくださり、みんなで食べました。



レッツゴーPG大会・親子PG大会を開催

10月3日にひまわりPG場にてレッツゴーPG大会・親子PG大会を実施しました。レッツゴーPG大会には32名、親子PG大会には10組20名の方に参加していただきました。

終了後には、パルムにて向日葵さんのカレーライスをみんなで食べました。



ひまわり大学9月講座を開催

9月10日、公民館大ホールにおいて、ひまわり大学9月講座を開催しました。

今回は、芸者ぼういずのお二人をお招きし、「副作用無しのお笑いお座敷芸」というテーマで、学生の皆さんを笑顔にさせていただきました。



■今後の主催事業

教育委員会主催の社会教育・体育事業は右記QRコードより詳細をご確認いただき電話等でお申し込み下さい。



■各学校便り

右記QRコードより学校便りをご覧いただけます。

【問い合わせ先】

北竜町教育委員会 TEL:34-2553 真竜小学校 北竜中学校



■北竜町のこれからの学校づくり「かわら版」

右記QRコードより、準備委員会の様子等が掲載された「かわら版」令和7年度第1号をご覧いただけます。



■図書館便り

右記QRコードより図書館便りをご覧いただけます。



※印刷物でご覧になりたい方は教育委員会（TEL：34-2553）までご連絡ください。

公民館・改善センター 図書館・郷土資料館の休館日

11月2日・9日・16日・23日・30日（毎週月曜日）

図書館・郷土資料館の開館時間

火～土曜日 9:00～18:00／日曜日 9:00～17:00

11月の生涯学習カレンダー

月 日	行 事 名	場 所	時 間
2日(月)	町民文化祭(～3日)	公民館・改善センター	9:00～
	親子映画観賞会	改善センター	18:00～

地方創生トピックス

令和7年度から新たに始まった地方創生交付金2.0。北竜町ではどのようなことを行っているのか町民の皆様にご覧いただけるよう広報誌を通じて随時お知らせいたします。

地域資源活用プロジェクト第2弾！「鹿肉ジャーキー」

【事業の目的や内容】

役場の若手職員4名が中心となり、有害鳥獣「エゾ鹿」を地域資源と捉え直し、食肉や工芸品として活用するためのチャレンジを行っています。今回はエゾ鹿肉の需要創出策として“犬用おやつ”としての可能性に着目し、道内企業と連携しながら原材料や加工方法について相談・検討を重ね、商品開発を行いました。

【現在の取組状況と今後】

「鹿肉×黒大豆きなこ」「鹿肉×ひまわり油」など4種いずれも無添加の商品です。パッケージもデザイナーに依頼し可愛いものを考えました。「クラフトマルシェ」で行った試験販売では好評を博したことから、今後ECサイトで期間限定での販売を行うこととしています。



「ひまわりのまちクラフトマルシェ」今年も開催しました

【事業の目的や内容】

日本最大のハンドメイドマーケットプレイス「Creema（クリーマ）」のサポートを受け、全国からたくさんのクリエイターが集まって、地元のクリエイターとともに作品を展示販売したり、ワークショップを開催しました。ものづくりやイベントを通してまちの魅力を発信し、にぎわい創出や関係人口の拡大につなげることを目指しています。

【現在の取組状況と今後】

10月17日・18日の2日間、公民館で第2回目のクラフトマルシェが開催されました。今年は約40組のクリエイター（うち、地元クリエイター8組）がブースを開設し、ひまわりをモチーフとした作品の販売や様々なワークショップを行いました。キッチンカーの出店もあり大盛況でした。



NoMaps2026に北竜町が参戦！

【事業の目的や内容】

NoMapsは北海道を舞台に新しい価値を生み出す大きな枠組みで、クリエイティブな発想や技術によって、次の社会・未来を創ろうとする人たちのための交流の場（コンベンション）です。2017年から、毎年9月、札幌を中心に、産官学連携の運営体制で、開催されています。

【現在の取組状況と今後】

9月25日札幌で行われたセッションの第1部では、町長、教育長が登壇し「子育てのまち」の取組などを発表しました。第2部では「テクノロジーの秘密基地が町の起爆剤に」をテーマにディスカッションを行いました。いずれも会場が満杯で熱気に溢れていました。来年も参戦し積極的に発信を行っていく予定です。



クリエイターコラボ作品コンテスト

【事業の目的や内容】

地域資源のものづくりの素材としての可能性（ブランド化、販路の開拓など）を探るとともに、その活用例を31万人が参加するクリエイターコミュニティにアピールすることも目的としています。またクリエイターの自由な発想と技術による商品のラインナップの拡大を目指します。

【現在の取組状況と今後】

エゾ鹿を素材として活用したオリジナル作品の製作をCreemaがクリエイターに募集しコンテストを行った結果、28点の作品が誕生しました。しなやかで丈夫なエゾ鹿の革や、保湿性に優れた鹿油を生かした作品が披露されました。今後は寄せられた様々な声を踏まえ、素材の商品化や販売を探っていきます。

